

## 東北大学大学院リーディングプログラム学生認定式挨拶

只今ご紹介頂きました花輪でございます。東北大学リーディングプログラム推進機構長として、2014年度の認定式の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

東北大学リーディングプログラムである、「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」の第2期生となる33名、そして「マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム」の第1期生となる25名の皆さんを、本日ここにプログラム院生として認定できることを、大変嬉しく思います。「俯瞰力と独創力を身につけた産学官で活躍できるグローバルリーダーを養成する」というリーディングプログラムに、果敢にチャレンジしようとする皆さんを、心より歓迎いたします。

一昨年からはまった「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」では、この3月の1日（土）と2日（日）にシンポジウムが開催され、第1期生の皆さんのC-Lab研修の成果発表が行われました。第2期生として本日認定された皆さんの中にも、出席された方がおられると思います

また、「マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム」では、3月24日（月）にキックオフシンポジウムが開催され、本日認定される皆さんも参加されたと思います。

このようなシンポジウムに参加することで、皆さんは、あらためて、所属する研究科・研究室の垣根を越えて一体となって学修することを通じて、リーダーを目指す自覚がいつそう促されたことと思います。

これから始まる皆さんのリーディングプログラム院生としての生活は、所属する研究科での学修に加えて、リーディングプログラムの学修や研修もこなす必要があります。非常にハードな毎日になると思いますが、是非仲間とともに切磋琢磨し、主体的に学び合いながら、皆さん自身が思い描く将来のリーダーとしての“夢”を共有し、実現していただきたいと思います。

リーディングプログラムは、本学が目指す「東北の復興・日本再生の先導」を実現するとともに、国際的に活躍できる指導的人材を輩出するための非常に重要な事業であります。大学全体としてもこのリーディングプログラムの目的を実現するために、皆さんを積極的に支援して参りたいと考えています。

最後に、このリーディングプログラムにより、「博士」の学位を取得された皆さんが、将来、グローバルリーダーとして世界のあらゆる場面において活躍し、日本ひいては世界全体の課題解決と発展に貢献できる人材となることを願って、私の挨拶とさせていただきます。

2014年4月1日

東北大学リーディングプログラム推進機構長  
教育・学生支援・教育国際交流担当理事

花輪 公雄